

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
1	地域公共交通	<p>運転免許返納後の移動（買物や通院など）に不安を感じている高齢者の方が非常に多く、路線バスの本数や時間の見直しに関するご要望が沢山寄せられました。また、伊勢市へ通学する高校生の移動手段としても、バス本数に関するご要望をいただいています。</p> <p>町営バスについては、制度の見直しで満足している、ぜひ利用してみたいというお声もいただきましたが、停留所まで遠いので、もう少し自宅付近で停まってもらえると助かるというご意見や、玉城町・多気町方面への延伸やデマンド運行を求めめるご要望もありました。</p>	<p>公共交通の強化を図るため、近隣町との連携や全国の事例を参考にしながら、安心して買い物、通院、さらには通学ができる方法を模索しています。高校生への通学支援として始めた路線バス最終便の町内への延伸は、多くの学生が利用し、好評いただいています。</p> <p>見直しから5年目を迎える町営バスは、今年、利用に関する実態把握を行い、検証を行っているところです。町営バスの停留所については、各区長さんとも相談させていただき、各地域のバランスを取りながら最良の場所について検討しています。</p> <p>また、デマンド運行については、費用対効果の面から導入が難しい状況にありますが、新たな交通手段として、個人の自家用車を利用した有償配車サービスであるライドシェアの実証実験を進めているところです。</p>	総務課
2	災害対策	<p>昨今報道で目にする自然の脅威や被災地の状況から、南海トラフ巨大地震発生に備えた町の計画について、どんなプランを作成しているのかという問合せをいただきました。</p> <p>一之瀬地区など町全体へ食料や避難物資がきちんと届くシステムが構築されているのか、ペット同伴避難の対応など、町の方針を教えてほしいというご意見が寄せられています。</p>	<p>南海トラフ地震を含めた災害対策についての計画は、地域防災計画を作成しています。同計画は、町ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。</p> <p>また、各地区への食料や避難物資については、輸送が困難なことも想定し旧村エリアに備蓄倉庫を備えるとともに、各地区が整備する非常食や資機材に対して補助をしております。ペット同行避難の受入体制については、通常避難者とペット同行者とのバランスを考慮しながら検討していきます。</p>	総務課
3	防犯	<p>高齢者を中心に、振り込め詐欺などの犯罪が発生していることを受け、防犯カメラを設置してほしいというご要望や、防災無線放送以外のさらなる注意喚起を求めめるご意見をいただきました。</p>	<p>防犯カメラについては、令和7年度中に県道交差点において複数箇所設置予定です。また、団体が設置する防犯カメラへの補助制度もあり、いくつかの区が活用いただいているところです。</p> <p>さらに、特殊詐欺などの被害を防止するため自動応答録音機能を有する機器の購入に対する補助制度もありますので、ぜひご活用ください。</p>	総務課
4	防災無線	<p>防災無線に関しては、朝の時間帯や頻度、読み上げの速さに対するご意見をいただいています。速さについては、ゆっくり過ぎてかえって分かりにくいというご意見もあれば、聞き取れないので、もっとゆっくり話してほしいという双方の意見がありました。</p>	<p>防災無線は聞き逃しを防ぐため、朝夕の時間帯に繰り返し放送することがあり、お休みの時間に重なる方もみえるでしょうがご理解をお願いします。また、読み上げの速さについては、子局ごとに設定することができないため、現在のスピードで運用させていただきます。</p> <p>なお、放送内容については、アプリや防災メールなど視覚的情報の発信も行っていますので、ぜひご活用ください。</p>	総務課
5	地域コミュニティ	<p>地域コミュニティの存続に力を入れてほしい。また、地区集会所の環境整備にも情報提供をお願いしたいといったご意見を頂戴しました。</p>	<p>年2回程度の区長会を開催し、区への補助金についてご説明する機会を設けています。地区集会所の環境整備につきましては、それぞれの地区で計画的に実施されるよう年度当初の区長会でご説明しているところです。</p> <p>また、区長・自治会長さんからの区内での懸案事項に関するご相談については、各担当部署が聴き取りし、最適な対応について検討していきますので、具体的なご要望がありましたら、区長・自治会長様にご提案ください。</p>	総務課
6	役場開庁・職員体制	<p>町職員の意識改革や資質向上のほか、職員数の削減による行政のスリム化を求めめるご意見をいただきました。また、開庁時間の延長や休日開庁など、窓口サービスの拡充に対するご要望も複数寄せられています。</p>	<p>行政のスリム化については、全庁をあげて時間外勤務の縮減に取り組んでいます。人事評価や職員研修の実施により職員の意識改革を図るほか、働きやすい環境づくりに努め、職員の確保や定着率の向上に、まずは取り組んでいきます。</p> <p>開庁時間の延長については、全国的に短縮の流れにあり、当町もオンライン申請、各種証明書のコンビニ交付サービスの導入に向けた検討に合わせて、開庁時間の見直しも検討していきます。</p>	総務課

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
7	宮リバー度会パーク	<p>町自慢の素晴らしい施設として、これからも維持管理をお願いしたいというご意見を沢山いただきました。また、バスケットコートやランニングステーション、自然を満喫出来るようなアスレチックの整備、さらにはマルシェやキッチンカーなど町内外から多くの方が訪れ、楽しめる施設にしてはどうかなど、ご提案も複数いただきました。</p> <p>一方、ごみの放置や直火焚火、犬の糞の処理など、利用マナーに関するご意見のほか、販売所の充実など公園内で収益を生み出すような仕組みを考える必要があるのではというご意見もありました。</p> <p>遊水プール鏡は、営業期間を土・日曜日だけでももう少し延長してほしいというご要望がありました。</p>	<p>様々な設備のご提案をいただきましたが、スペースの問題もありますので、既存設備の利用状況や劣化等を踏まえ、今後公園全体のリニューアルを計画する際に検討させていただきます。キッチンカー等は、現在、春まつりや商工会のわたらいフェスタ等のイベント時、またプール営業期間に導入していますが、普段は騒音等を考慮して導入していません。皆さんが気持ちよくご利用いただくため、今後も利用者に対するマナー順守を徹底してまいります。</p> <p>また、販売所については、魅力ある商品を提供できるよう商工会とも連携を図っていきます。</p> <p>遊水プール鏡の運営については、カレンダー、気候等を考慮して検討していきます。</p>	施設管理室
8	企業誘致	<p>若い世代が進学や就職で町外へ転出し、人口減少が加速する状況に対し、若者が戻ってきたいと思うような就労環境の整備、産業活動をもっと積極的に行っていくべきではないかというご意見を複数いただいています。</p>	<p>多くのご意見を頂戴しました就労環境の整備は、人口減少抑制の面でも、町収入の確保の面でも大きな影響を及ぼすことから、長年の課題であると認識しています。</p> <p>町では、伊勢市を中心とした伊勢志摩定住自立圏域の市町と連携し三重県企業ネットワークセミナーに参加するなど企業誘致に取り組んでいますが、当町は交通条件が整わず適地となる工業団地等も持たない中で、町への誘致は難しい状況にあります。一方で、近隣市町へ就労する方のベッドタウンという位置づけで考えるなら、広域での誘致戦略も大きな意味を成すと考えています。</p> <p>また、近年、移住者も含めた個人で創業される方がみえるのは、町にとって明るい情報です。町商工会等の関係機関と連携し、創業や継業を選択する方の支援も引き続き行っていきます。</p>	みらい安心課
9	広報・広聴	<p>町の取組に関して、もっと情報提供に力を入れるべきというご意見のほか、世代別や地区別など直接対話できるような機会を作ってはどうかといった広聴のご提案もいただきました。</p> <p>またホームページや看板、パンフレットなど、町の発信媒体のビジュアルを、見た目を意識して少しずつ変えていくことも必要ではないかというご意見もありました。</p>	<p>町広報紙の他、公式ホームページ、公式インスタグラム、文字放送等で情報発信を行っているところで、各年代や各ライフステージで必要な情報が得られる発信を意識しておこないます。合わせてホームページや観光パンフレット等の更新もおこなっていきます。</p> <p>また、各事業でのワークショップやアンケート調査を通じて、町民のみなさまの声を大切にしていこう取り組んでまいります。</p>	みらい安心課
10	移住定住・結婚支援	<p>若い世代の移住定住施策にもっと力を入れるべきというご意見を複数いただいています。例えば、住宅購入への補助や、40代独身者も対象に含めた婚活イベントの開催、転出要因を探るためのアンケート調査など、様々なご提案がありました。</p>	<p>移住定住補助金を令和元年に創設し、条件を満たせば最大100万円の補助金を受けることができる制度があり、例年、多くの方にご活用いただいています。また、婚活イベントにつきましては、毎年開催しているところですが、対象者やテーマ等も工夫して実施してまいります。</p> <p>なお、ご提案いただきました転入者・転出者へのアンケート調査については、令和7年9月から対象の方に窓口にてお願いしているところです。</p>	みらい安心課
11	再エネ・脱炭素	<p>既存の太陽光発電や風力発電の施設が、将来もそのまま残るのではないかといったご心配や、町内にソーラーパネルが広がることで自然が破壊されないかといったご意見がありました。</p> <p>一方で、町内でもEV自動車をもっと広がっていけばよいという低炭素社会実現に向けたご意見も寄せられています。</p>	<p>ご意見をいただきました、度会ウインドファームや宮リバー度会ソーラーパークといった大規模事業については、運営企業と連携をはかります。再エネ設備については法令等を順守し、また地域の意見を重視して取り組んでまいります。</p> <p>EV自動車については脱炭素事業を推進する取り組みにて、導入拡大を目指していきます。</p>	みらい安心課

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
12	まちづくり全体	<p>まちづくりに関しては、高齢者に優しいまちづくりや子育て支援を重点的になど、皆さんから様々なご意見を頂戴しています。人口減少や高齢化への不安を感じながら、町も危機感と使命感を持って本気で取り組んでもらいたいというお声をいただきました。</p> <p>また、棚橋や大野木などに施設やサービスが集中し、他の地域との格差を心配するご意見もいただいています。</p>	<p>ご意見いただいたように、ここ10年間の人口減少の加速化や少子高齢化の進展、また将来人口の推計には、町としても非常に大きな危機感を感じています。今回策定する「第7次度会町総合計画後期基本計画」はもちろん、同時に策定する「度会町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、人口減少抑制に向けた各種施策を掲げていきます。しかしながら、大幅に改善が見込まれるものでもなく、今後減少に歯止めが利かない状況に陥った際の町政も具体的にイメージしなければいけない段階にきています。いずれにしても、持続可能なまちづくりに向けて、町職員も全力で取り組んでいきます。</p> <p>また、地域格差を心配するご意見については、町でも強く認識しています。特に、少数世帯で構成される区・自治会の存続、コミュニティのあり方については、町も寄り添った支援を行えるよう知恵を絞り対応していきます。</p>	みらい安心課
13	住民アンケート	<p>今回、無作為に抽出した1,000人の皆さんに同じアンケートをお願いしましたが、若い世代と高齢世代、また子育て世帯と未婚者など、設問によっては回答が難しかったというご意見をいただきました。</p> <p>さらに、今回のアンケート結果が各施策につながるのであれば、広報紙などでも紹介してほしいというご提案も頂戴しています。</p>	<p>今回の「まちづくりに関するアンケート調査」にご協力いただき、ありがとうございます。18歳以上の住民の方から無作為に抽出しました1,000人の方にお送りしたところ、600人の方に回答いただきました。</p> <p>ご意見にありますように、高齢者福祉の課題や子育て支援策のことなど、年齢や家族構成によっては回答しづらい設問も含まれていたように思います。そういった設問は回答を省略していただくようなご案内をさせていただくべきでした。ご意見を参考に、次回以降は注意書きを付記するようにいたします。</p> <p>なお、アンケート結果は、町三役をはじめ全庁で確認し、各施策の評価や今後の方向性検討に活用しています。広報紙掲載にあたっては、アンケート結果の公表はもちろん、施策への反映についても都度紹介させていただくよう工夫してまいります。</p>	みらい安心課
14	コンビニ交付	<p>住民票や印鑑証明書のコンビニ交付を求めるとご要望も複数いただきました。</p>	<p>住民票のコンビニ交付につきましては、導入に向けて検討を重ねてまいりましたが、機器やシステムの導入費・維持管理費が高額で、想定される利用件数との費用対効果が見合わない状況にあります。限られた予算の中でより多くの方に必要なサービスを充実させるため、現時点では導入を見送っていますが、今後も利用ニーズや費用対効果については継続的に検証し、導入の是非について検討してまいります。</p> <p>なお、現在、平日の業務時間中に電話で予約いただき、休日の来庁時に交付する休日交付サービスを実施していますので、ご活用ください。</p>	税務住民課
15	地域医療	<p>地域医療の充実に関しては、非常に多くのご意見をいただきました。現在は町外の医療機関へかかっているがガソリン代の負担が大きいこと、また運転免許返納後の通院を心配するお声が多数寄せられています。</p> <p>そんな中で、アンケートに記載した「町営診療所」の早期開設を望むご意見も非常に多く、高齢社会が一層進む中で高齢者が安心して暮らせるまちづくりに注力してほしいというご要望が複数ありました。</p>	<p>町内に3か所あった医療機関がここ数年で2か所閉院し、現在1か所となっています。このため、地域医療に関する環境整備を整えることが喫緊の課題です。</p> <p>町では現在、令和8年4月に町営診療所を開設できるよう今年度準備・調整に努めております。本診療所を開設することで、地域住民の健康保持に必要な医療提供を行い、安心して暮らせる環境整備の一助となればと考えております。</p>	保健こども課

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
16	子育て支援	<p>子育てをする環境はとても良いというご意見が寄せられています。一方で、人口減少が進むなか、伊勢市や玉城町のように子育て支援策をもっと拡充し、若い世代の移住につなげていくべきだというご提案も複数頂戴しました。</p>	<p>現在町では、妊産婦や乳児、幼児のサポートを目的とし産後ケア事業をはじめとした事業の拡充の検討や、子育て支援センターにて親子が交流できる広場の提供を行っています。</p> <p>また、保育所の副食費半額補助の実施、放課後における子どもの居場所づくりとして放課後児童クラブにおける一人親家庭に対する利用料補助の実施、対象学年の拡大を検討しています。子育て支援策の拡充については、近隣市町の状況や、国や県の補助制度等も考慮しながら、町として引き続きすすめてまいります。</p>	保健子ども課
17	保育所	<p>保育所運営には、保育士の待遇を良くし、保育の質の底上げを求めるとご意見もありましたが、園児数のさらなる減少が見込まれる中、早期に統合を進め保育環境を維持することが、子どもたちの成長にも、町財政にも良いのではないかとご意見も頂戴しています。</p> <p>また、子育て支援策として、2人目妊娠時の登園基準見直しを求めるとご要望もいただいています。</p>	<p>保育所は園児が安全に、また快適に過ごせるように都度環境改善を図っています。今年度はトイレの洋式化や段差解消等を進めているところです。ご指摘の保育所統廃合については、令和8年度分の中之郷保育所の応募人数が10名を下回った場合、他保育所への統合を進める予定です。</p> <p>また、2人目以降妊娠時の3歳未満児の登園基準については、保育士の人材不足もあり、早期の基準の見直しは難しいものの、令和8年4月から「こども誰でも通園制度」の開設を予定しており、ファミリーサポートセンターなど他の支援制度と合わせてご利用いただくことで、子育てにかかる負担軽減を図っていきます。</p>	保健子ども課
18	高齢者就労	<p>高齢者が働ける場所として、シルバー人材センターの体制整備を求めるとご意見も複数寄せられています。また、現在実施しているお助け隊隊員の増強に関するご提案をいただきました。</p>	<p>社会福祉協議会の事業である「地域お助け隊」は、有償ボランティア制度で、度会町ではシルバー人材センターに代わる事業として拡充を進めています。隊員の報酬は地域の最低賃金水準を考慮し、隊員の作業に対し最低賃金及び近隣市町のシルバー人材センターの報酬単価を下回らないよう配慮しています。</p> <p>作業内容は簡単な掃除から庭木の剪定等多岐にわたるため、高齢者の方のみならずたくさんの方の隊員登録を随時募集しています。</p>	長寿福祉課
19	高齢者の生活支援	<p>町の体操教室に通い体づくりに励みたいや、健康なシニアが若い子育て世代の支えになって、共助していけると町の活気につながるのではといったご意見を頂戴しました。</p> <p>一方で、買物支援やタクシーチケットの配布など、後期高齢者へのケアや福祉対応について、玉城町や明和町の例を参考にしてほしいというご意見も寄せられています。</p>	<p>中央公民館等で開催されています、生涯学習講座や自主グループ活動に運動や文化活動のメニューがございますので是非ご参加ください。宮リバー度会パークの第2チビッコ広場には健康遊具が設置され、町内のウォーキングマップを町HPに掲載する準備もしていますので、皆様の健康づくりにお役立てください。</p> <p>また、子育て支援センターではファミリー・サポート・センターの提供会員の募集をしていますので、子育て世帯への応援にご協力をお願いします。</p> <p>令和7年度から開始しましたタクシー料金補助事業は一定の条件は必要となるものの、通院支援の一助としてご利用いただけます。買物支援については、現在町営バスや移動スーパーをご利用いただいておりますが、新たなサービスに関しましては近隣市町等の情報収集を通じて動向を把握し、本町の実情に即した検討を行ってまいります。</p>	長寿福祉課
20	道路環境	<p>通行の障害となる木などの伐採が最近はきれいに行われているというご意見をいただきましたが、草刈りの徹底や街灯の増設、舗装の整備充実を求めるとご意見も複数頂戴しています。</p> <p>また、県道の歩道整備や宮川架橋の要望など、三重県に対するご要望も合わせていただきました。</p>	<p>草刈りは繁茂期に重点実施し、舗装は緊急度等で優先補修しています。街灯（防犯灯）の増設については、区・自治会からの要望という形で防災係が承りますので、まずは区長・自治会長様にお問い合わせください。</p> <p>県道の歩道整備は町から県へ要望するほか、宮川架橋については近隣市町や関連団体と共に要望しています。</p>	建設課

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
21	空き家対策	倒壊しそうな空き家や、伸び放題の植木・生垣、荒地の増加などに対するご意見も複数寄せられました。	危険度の高い空き家については、所有者への是正要請や、法令に基づく対応の検討を行います。除却する際の補助制度もあり、活用されているケースもあります。また、植木・生垣、荒地の増加については、通行の支障や隣地への影響を確認し、所有者に剪定・除草を依頼します。	建設課
22	環境問題	リサイクルステーションでのペットボトル、空き缶の回収を求めるとご要望を複数いただきました。また、河川や山へのゴミのポイ捨てや近所の野焼き、改造車の騒音など、町からの注意喚起を強く求めるご意見もいただいています。 美化センター職員の対応について、丁寧で気持ちがよく、自分もゴミの分別に協力したいと思うというご意見も頂戴しました。	リサイクルステーションについては、誤った利用が散見されることから注意事項について再度周知・啓発していきます。ペットボトル等の回収については、皆さんが適切にご利用いただけるような形を考え、拡充の検討を進めます。 ごみのポイ捨てについては、看板の設置、清掃活動により対策を実施しています。また野焼き、改造車の騒音などについては、伊勢消防署や伊勢警察署と連携し対応しています。 町では、令和5年度にごみの減量化・再資源化推進を宣言し、現在も町民皆さん、事業所、学校、団体など、町ぐるみで再資源化率向上に向け、様々な取り組みが実施されています。引き続き、分別・リサイクルへのご協力をお願いいたします。	環境水道課
23	水道	現在実施中の水道基本料金の減免に対し、感謝のお言葉も頂戴していますが、一方で、県内でも高額上位な水道料金に対するご意見もいただいています。	令和8年5月支払分（4月利用分）から水道料金の値上げを予定しています。将来にわたって安全・安心な水道サービスを提供するため、ご理解ご協力をお願いいたします。 詳しくは、広報紙（令和7年7月号・8月号・11月号）やホームページをご覧ください。ただし、パブリックコメントの募集は終了しています。	環境水道課
24	鳥獣被害対策	鳥獣被害対策については、家庭菜園等への影響のほか、夜間出没で安全走行に支障をきたしているという点でも、駆除の強化を求めるとご意見を複数頂戴しています。	農地における鳥獣被害対策は、有害個体の捕獲、農地の防護、生息環境の管理を行政と地域の協働で行っていくことが不可欠です。町ではサル的大型捕獲檻の購入による捕獲の促進、家庭菜園でも使える獣害防護柵の補助を電気柵以外にも拡充するなどの対策を強化してまいりました。今後も地域の皆様からのご意見や情報をいただきながら、さらなる獣害対策の推進に努めてまいります。	産業振興課
25	農業振興	伊勢茶の茶摘み体験や、茶文化を学ぶアクティビティ企画など茶振興に関するご提案のほか、自然の中で栽培できるわさびやクレソンといった新たな特産品開発のご意見も頂戴しました。 また、休耕田などが今後一層荒廃する前に、土地を管理代行している者への支援を検討してはどうか、といった提案も寄せられています。	新たな特産品の開発について、令和2年度から薬用作物の試験栽培に取り組みました。鳥獣被害を受けにくく商品価値が高い作物ですが、採算がとれるレベルでの収量に至らず、ブドウサンショウのみに絞って栽培技術を検証しています。今後も生産者や農協、県などと連携し、新たな特産品の掘り起こしを推進してまいります。 休耕田の荒廃防止には、地域の担い手の確保と農地の集約が最も効果的であると考えております。また、地域での話し合いを経て、一定の要件を満たした場合には国の補助金（機構集積協力金）が交付されます。町では、地域での話し合いへの協力、担い手支援などを通じ、農地の荒廃防止に努めてまいります。	産業振興課

No.	項目	主なご意見・ご質問	町の回答	担当課
26	観光施策	<p>収穫や農作業体験など、町の自然や特産を活かした集客を考えてはどうか、お米やお茶などを使った料理や菓子を競う大会など、多様な世代との交流が生まれる機会もよいのでは、といったご提案をいただいています。</p> <p>また、10代の方から各市町村を舞台としたアニメの放映などが誘客につながるのではといったご意見も寄せられました。</p>	<p>都市部との交流につきましては、令和2年度以降のコロナ禍で停滞しておりましたが、近年、都市部の子どもを対象としたさまざまな農林業体験に民間事業者が取り組んでおられる事例があります。自然体験については宮リバー度会パークを基点とした川のアクティビティを中心に、プールと並んで夏の誘客の目玉となっています。今後も民間事業との協働による集客に努めるとともに、近隣市町との連携による、スケールメリットを生かした観光施策にも取り組んでいきます。</p> <p>また、アニメ、ドラマ、映画などを活用したロケツーリズムは観光における大きなトレンドとなっています。度会町としても、伊勢志摩フィルムコミッションやテレビ局等に協力し、町の自然や景観、文化、歴史を活かしたロケ地の誘致に努めるとともに、撮影地のロケマップの作成などにより誘客につなげていきたいと考えております。</p>	産業振興課
27	小中学校・学校給食	<p>現在、小中学校が取り組んでいる農林業体験やゴミの分別学習、また人権教育は、地域に目を向けた取組であり、これからの町を支える大きな力になるのではないかと期待したいといったご意見を複数頂戴しました。</p> <p>要望事項としては、通学路やバス停までの安全対策の徹底や、学校給食の改善を求めるとご意見、また将来を見据えた小中一貫校の検討についても寄せられています。</p>	<p>町の教育行政に関する取り組みに関心を寄せていただき、また、温かいお言葉をいただきありがとうございます。</p> <p>通学路の改善については、度会町通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携しながら児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保に努めています。</p> <p>学校給食については、栄養バランス、安全衛生、単価等様々な面に配慮しながら実施しているところですが、いただいたご意見も真摯に受け止めながら給食運営を行ってまいります。</p> <p>小中一貫校の検討については、1小1中の強みをいかしながら9年間の継続的な学びについて、ハード面ソフト面ともに検討を進めてまいります。</p>	教育委員会事務局
28	高校生の通学支援	<p>町外の高校へ進学する生徒が多いなか、物価高騰により年々高くなるバス定期代や自転車購入について、就学補助の拡充を求めるとご要望をいただきました。</p>	<p>保護者の方の経済負担を軽減するため、令和3年度から高校生等の保護者を対象に年額2万円の就学支援金給付を実施しています。</p> <p>バスの定期代金など個人への直接的な支援ではございませんが、廃止路線の自主運行による増便や町営バスの運行のほか、部活動などに参加しても帰宅できるように路線バスの最終便（伊勢市駅20：37発）を町内まで延伸するなど、より多くの高校生の方にもご利用いただけるようダイヤの工夫等も行っているところです。</p>	教育委員会事務局
29	運動施設	<p>世代に関わらず、体力向上や健康のための運動施設（ジム）の整備を求めるとご要望が複数寄せられています。特に高齢者については、健康寿命の延伸で医療費削減につながるといったご意見もありました。</p>	<p>生涯スポーツに関する既存の施設や講座等としては、宮リバー度会パークの健康遊具や、生涯学習講座のヨガ、体操、ピラティス等のほか、スポーツクラブが実施する教室やスポーツ協会スポーツ推進委員等が実施するイベント等がありますので、より多くの方にご活用いただけるよう周知に努めます。</p> <p>健康寿命の延伸等は超高齢社会である現代において重要な課題であると認識しています。ご要望をいただきましたジムについて、既存の施設を活用しながら安価で継続的に取り組めるようなくみづくりができないか検討を行います。</p>	教育委員会事務局